

参議院自由民主党政策審議会長

参議院議員・薬剤師

藤井基之

### 令和4年度政府予算案

令和4年度政府予算案は、昨年12月24日に閣議決定されました。令和4年度一般会計の歳出総額は、前年度当初予算比0.9%増の107兆5964億円と10年連続で過去最大を更新しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止に備えて、その対策予備費5兆円を措置し、昨年末の令和3年度補正予算と合わせて万全を期すとともに、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現を図るための予算となっています。

厚生労働省の一般会計予算総額は、前年度当初予算に比べて3781億円増の33兆5160億円となり、このうち、社会保障関係費が33兆1833億円を占めています。医薬関係では、医薬品迅速開発のための国際調和ガイドラインの作成、アジア等での国際共同治験の支援やPMDAアジアトレーニングセンター事業の拡充等の費用として3.8億円、電子処方箋の導入に向けた医療機関・薬局のシステム整備支援、電子お薬手帳の活用促進等の費用として383.6億円等を要求しています。

本年4月の診療報酬・薬価等改定については、昨年末の財務・厚労の大臣折衝により、診療報酬が0.43%（医科0.26%、歯科0.29%、調剤0.08%）の引上げとなり、リフィル処方箋の導入・活用促進により効率化を図ることも決定しました。一方、薬価は1.35%の引下げとなり、今回も社会保障費の抑制財源を薬業界が負うところとなりました。また、後発医薬品の調剤体制評価の見直し、多店舗を有する薬局等の評価適正化、OTC類似医薬品の保険給付範囲の見直し等について、中医協の議論を踏まえ改革を着実に進めることも確認されています。

令和4年度予算案は、1月中旬に召集予定の通常国会において審議されます。一刻も早い成立に努めて参ります。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>